

■上杉茂憲 米沢藩主として明治維新を迎え、沖縄県知事になると異例の民主的県政を行い、人材を輩出した。

うえずぎもちのり

天保改革終・1844= 米沢城で、第12代藩主の長子に生まれる。

阿部正弘首座1845= 1歳：

孝明天皇・・・1846= 2歳：世子となる。

ペリー来航・1853= 9歳：

桜田門外変・1860=16歳：江戸に出て将軍家茂に謁し、殿上で元服、従四位下、侍従兼式部大輔、将軍の一字を賜り茂憲と改名。

遣欧使節・・・1861=17歳：米沢に戻り、

生麦事件・・・1862=18歳：松平義比の娘と縁組。

8月18日政変 1863=19歳：父が将軍上洛の先駆を務め、功績大を賞される。

禁門の変・・・1864=20歳：従四位上。

薩摩藩士密航1865=21歳：致仕を願って許されなかった父の代理として、京都警固に当り、

薩長同盟・・・1866=22歳：再び、京都警固を務め、天皇にも謁見。任務終了後も、情勢不穏のため請われて在京し、米沢に帰る。

大政奉還・・・1867=23歳：大政奉還・王政復古となり、

明治維新・・・1868=24歳：戊辰戦争に際して、会津討伐の先鋒を命じられた父が、奥羽列藩同盟の決議に従い越後支援に向かうも、勝利困難とみて全軍引揚げ、父の代理として新発田で官軍に降伏。官軍の先鋒として、庄内討伐に向かう一方、会津の松平容保を降伏に導く。戦後、奥羽諸藩は処断され、父が隠居させられて家督を相続。

戊辰戦争終・1869=25歳：***参内して、旧領を安堵され、東京に邸宅を賜り、京都邸の存続も許される。版籍奉還で、藩知事となり、侍従兼式部大輔、従四位に復位。**

初の日刊新聞1870=26歳：***米沢城解体し二の丸移住を命じられる。廃藩置県で、米沢県知事。旧藩主の東京居住命で上京。**

廃藩置県・・・1871=27歳：

学問のすすめ1872=28歳：イギリス遊学に出、

明治6年政変 1873=29歳：帰国。

三つの内乱・1876=32歳：二等辨事を経て、一等辨事。宮内省第二部長をへて第四部長。

西南戦争・・・1877=33歳：宮内省五等官。

・・・1880=36歳：

明治14年政変1881=37歳：***沖縄県令に任じられて現地に赴くや、東京留学制度設けるなど、異例の民主的県政を行って人材を輩出するものの、**

岩倉具視没・1883=39歳：***免じられ、元老院議員となる。**

秩父事件・・・1884=40歳：伯爵を授けられ、

国民之友始・1887=43歳：正四位。

帝国憲法発布1889=45歳：従三位。

帝国議会始・1890=46歳：伯爵互選の貴族院議員に当選。錦鶏の間伺候となる。

日清戦争始・1894=50歳：

白馬会・・・1896=52歳：米沢に新邸を造り、東京から移住。

八幡製鉄始・1897=53歳：再び、貴族院議員。

子規句歌革新1898=54歳：正三位。

日露戦争終・1905=61歳：

韓国反日暴動1907=63歳：従二位。

明治天皇没・1912=68歳：

民本主義・・・1916=72歳：

ロシア革命・1917=73歳：正二位。

ベルサイユ条約・1919=75歳：勲二等に叙せられ、**没した。**